



心晴れ晴れ

晴田小学校だより 第18号

令和7年10月20日

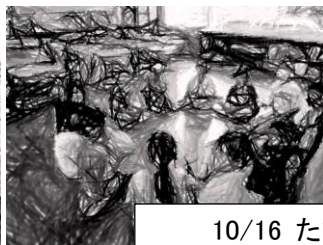
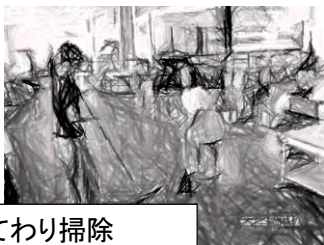
文責 校長 高山 健

【学校教育目標】 心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子の育成

☆たてわり掃除・たてわり遊び ～ 異学年交流を通して ～☆



10/9 たてわり掃除



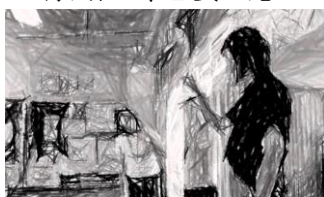
10/16 たてわり遊び

本校では、『異学年集団での活動を通して、年齢の違った友だちをつくる、下級生は上級生のよいところを学び、上級生は下級生のお世話をするにより、リーダーシップを養う。また、集団生活の大切さを学び、思いやり・連帯感・責任感を養う』という目標のもと、たてわり活動を行っています。上の2つの場面では、その目標に迫る姿、微笑ましい雰囲気が見られていました。今後も、年長者と年少者の相互作用の影響や間接的な大人たちの働きかけによって「子供が育つこと」を「教師が支える」姿勢を大切にしていきます。

☆「9+4のけいさんのしかたをかんがえよう」～ 1-2授業研究会 ～☆



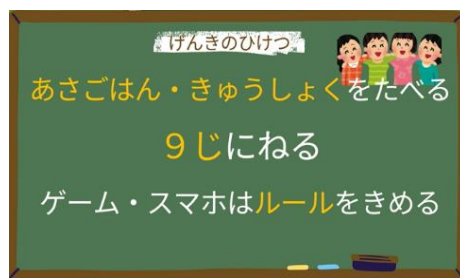
10月15日(水)、1の2の教室で標記授業研究会を行いました。担任の先生の問いかけに元気に応える姿、箱から出されるアメを、身を乗り出して見つめる姿、ブロックを使いながら互いの考えを伝え合う姿…と、精一杯学びに向かう姿はとても素晴らしいものでした。約半年の小学校生活でこんなに成長するんだと驚いたのは私だけではないはずです。くり上がりのあるたし算では、『さくらんぼ計算』を活用します。加数や被加数を分解し、10のまとまりを見いだしながら解を求めていく際は、言葉も用いながら思考を整理していきます。呪文のような言葉を唱えながら問題に向かう姿が見られた際は、「がんばっているね」と褒めてあげてください。また、困っていることがあればそっと寄り添い、必要に応じて励ましてあげてください。よろしくお願いいたします。



同日の放課後、職員による授業研究会を行いました。90分間があっという間に過ぎていったと感じるほどの熱気があり、それぞれが自分事として捉え、これからの実践に活かしていこうという思いが伝わってきました。

1の2で見た子どもの姿はステキな職員の不断の努力に支えられている！そう思うと嬉しくなりました。

☆児童集会 ～ 体育保健委員会・ボランティア委員会 ～☆



10月14日(火)は放送と動画による児童集会を行いました。体育保健委員会は、元気のひけつとして、上図の3点を呼びかけていました。ボランティア委員会の紹介動画では、花壇の水やりや清掃活動、募金活動など、取り組んでいる活動の紹介が行われました。内容もさることながら、アニメーションや音声も加えた紹介動画はとても分かりやすく、高学年の子どもたちと担当の先生方の工夫と努力が伝わってきました。その他の委員会についても、今後の集会の中で出番が設けられているようですので、楽しみにしています。

☆専門家に学ぶ！ ～

先生による絵画指導 ～☆



10月16日、17日の両日、先生(元三里小学校長)をお招きし、絵画指導をしていただきました。構図の取り方や色の塗り方など、経験と知識を活かした指導は、とても分かりやすく納得のいくもので、子どもたちの『早くやってみたい!』という思いが伝わってきました。学んだことを活かし、自分らしさを反映した作品が完成するのが楽しみです。先生、ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

☆働く苦勞と食べ物への感謝 ～ 5年生 稲刈り ～☆



10月16日(木)は5年生による稲刈りを実施しました。6月の田植えから約4か月、子どもたちは大きく成長した稲の様子に驚きと喜びを感じたことでしょう。はじめは、鎌で稲を刈る作業の楽しさを味わっていた子どもたちでしたが、汗をふきながら作業する時間が続くにつれ、身をもってその大変さを学ぶことができたようです。

上図は5の1の様子ですが、残り半分は5の2の子ども達が担うことになりました。日が差すにつれ、子どもたちの汗も目立つようになってきたので、水分補給をしながらの作業となりましたが子どもたちはよく頑張りました。

作業後の感想では、作業の大変さや、昔の人々の苦勞に目を向けたものがありました。今後は、食べ物への感謝の気持ちをもつ理由と関連付けながら、学びを深めてほしいと願っています。この稲刈りも青少年健全育成会の皆様にご協力をいただいております。貴重な学びの場を提供していただきありがとうございました。

☆靴そろえ ～ さらに心落ち着く学校になるために ～☆



「靴を揃えなさい!」そう言われた経験がある方は多いのではないのでしょうか。私もその一人なのですが、なぜ揃えるのかについて、自分なりの考えをもったのは随分後になってからでした。

本校では、上図のような考えをもとに、靴のかかとを揃える呼びかけを行っています。そして、給食時間の放送で、美しく揃っているクラスを紹介しながら、学校全体の雰囲気高める取組を積み重ねています。しかし、揃えることの意義を腹落ちできている子どもは少なく、取組を継続していく必要を感じています。

ある資料に次のようなことが書かれていました。『はきものを揃える国は、あまりないのではないかと思います。私が、以前住んでいた国は、全く揃えるということをしませんでした。それは、家だけでなく、たくさん人が集まる場所でも、まあ見事に脱ぎっぱなしという感じでした。そんな光景を目にすると、はきものを揃えるという行為は、すてきな文化のひとつだとつくづく思うものでした。(中略)はきものをそろえることは、「自分自身をみつめる」「自分の行いを振り返る」ということにつながると考えます。つまり、「はきものが揃っていれば心が落ち着いている。」ということです。』

最近になって、変化が見られる学年・学級が現れはじめました。『全校100点!』の日が来るのを諦めかけてた私にとっては、とても嬉しい変化です。この動きがさらに広がり、つながっていく手立てを考えていきます。